

## 史料紹介

## 「祈祷用ヒツジのトイ書」について

楊 海英

## はじめに

チンギス・ハーンを対象とする八白宮祭祀はさまざまな儀礼からなる。陰暦3月21日の春季大祭の日には「祈祷用のヒツジ」(sibsilgen qoni)を使ったトイの儀礼がおこなわれる。八白宮祭祀の最高責任者であるジノンの立会いのもとで、生きたままの状態で肝臓と胆嚢を出される。肝臓と胆嚢に示された啓示を祭祀者ダルハトたちはよみとってトイをおこなう (Sayinjiryal and Šaraldai 1983, pp.157-159; 利光 1989, pp.36-46)。

八白宮の祭祀活動がどのように実施されてきたかを研究するためには、祭祀の指針書たる『金書』(Altan bičig)をいろいろな角度から分析しなければならない。「祈祷用ヒツジのトイ書」(Sibsilgen qonin tölgen sudur)という『金書』はヒツジを用いたトイの儀礼を理解するための第一的な史料である。

ヒツジトイに関する史料は決して多くなかった。1909年12月にモスタールト (A. Mostaert) 師は牝馬1頭を供出して、オルドスのジュンガル旗から「聖主の祝詩および尊き食べ物の作法の書」(Boday-yin irügel-ün yamu yosu jang üile-yin debter)という写本を入手した。この写本は宣統元年(1909)陰暦10月29日に書写されたものである。後日、セールイス師が整理したモスタールト・コレクションのなかではNo.75の文書にカウントされている (Serruys 1975, p.200)。セールイス師はこの写本の重要性を認識し、2回に分けて1982年と1984年にその内容を発表している (Serruys 1982, pp.141-147; 1984, pp.29-62)。しかし、「聖主の祝詩および尊き食べ物の作法の書」は主として八白宮のヒツジトイの儀礼に関する『金書』である、という基本的な性質を十分理解していなかったこと、八白宮の儀礼を直接観察していなかったことなどから、セールイスの転写と注釈作業には再検討の余地が残されているといわざるを得ない。

1985年、ドイツ在住のモンゴル学者ホルチャバートルがこの「聖主の祝詩および尊き食べ物の作法の書」と題する『金書』のゼロックス・コピーをイタリアのモンゴル学者キョードー (Chiodo) 女史から入手した。ホルチャバートルはモンゴルのシャマニズムに関する研究にこの『金書』を活用している (Qurčabayatur and Üjüm-e 1991, pp.407-413; Hurcabaatur 1999, pp.135-144)。その後、私はホルチャバートルから同『金書』のゼロックス・コピーを借用し、『金書』全体に関する概説のなかで、その内容について詳しく検討した (楊 1998, pp.26-29)。近年、私 (Čoytu) はホルチャバートルと共同で複数種類の『金書』をまとめてモンゴル語で出版した。その際、モスタールト

ト師が収集した「聖主の祝詩および尊き食べ物の作法の書」を全文、影印の形で収録した (Qurčabayatur and Čoytu 2001, pp.41-61)。

一方、オルドスの民俗学者サインジャラガルは「聖主の祝詩および尊き食べ物の作法の書」とは別に、「祈禱用ヒツジのトイ書」(*Sibsilgen qonin tölgen sudur*) と題する写本の存在を『内モンゴル社会科学』(モンゴル語版)誌上で伝えている (Sayinjiryal 1998, pp.80-81)。サインジャラガルはその「祈禱用ヒツジのトイ書」をハンギン旗のトゥグルク・ソム (Tögürig sumu) に住むバトオチル (Batuwačir) という老人から入手したという (Sayinjiryal 1998, p.80)。その後、この「祈禱用ヒツジのトイ書」はサインジャラガルの著書『モンゴル族の祭祀文化』(*Mongyul takily-a*) のなかで全文掲載されているが (Sayinjiryal 2001, pp.213-215)、写本の性質、儀礼との関連等についての説明はなかった。また、部分的ではあるが、現代の正字法に直しているところもみられた。

2003年7月、私はオルドス市エジン・ホロー旗に住むサインジャラガル老を訪ねた。サインジャラガル老が私にみせたのは、ハンギン旗の老人バトオチルが祭祀者ダルハトとサインジャラガルのために、1980年代末か1990年代初期に新たに書写したものである。この時、すでにサインジャラガルとシャラルダイとの共著『黄金オルドの祭祀』(*Altan ordun-u tayily-a*) が出版されたあとだった。

「祈禱用ヒツジのトイ書」のオリジナルはまだバトオチルの手元に残っているはずだ、とサインジャラガル老はいう。バトオチルは「伝統的な教養を持つ」(*qauyčün soyul-tai*) 人物で、彼が毛筆で書写した「祈禱用ヒツジのトイ書」は格調高い書風である、とダルハトたちに評価されている。

## テキストの転写と試訳

写本を影印のかたちで日本で公開したいという私の願いをサインジャラガル老は快く受け入れ、「祈禱用ヒツジのトイ書」のゼロックス・コピーを提供してくれた (本稿末尾に掲載)。以下ではテキストを全文転写し、日本語訳を試みる。()内の文は、訳者が実際に儀礼を観察した経験とダルハトたちから聞いた情報に基づいて補足したものである。また、この「祈禱用ヒツジのトイ書」は基本的にモスタールト師が1909年12月に収集した「聖主の祝詩および尊き食べ物の作法の書」の一部内容と一致しているため、両者間の語彙の面での差異を註釈で記しておいた。

### Sibsilgen qonin tölgen sudur (祈禱用ヒツジのトイの書)

1.

tölgen qoni-yi noyitan qamayu. dotur-a

祈禱用のヒツジは皮膚病をもつもの、内臓に

jilbing. qar-a salkiyasu-tai mal-ača büü ab..

腫れがあると (と思われる) もの、ハラ・サラギス<sup>(1)</sup>を患っているものからは選ばない。

tngri-yin noqai-yin sorbi γaryaysan mal büü

「天のイヌ<sup>(2)</sup>」による傷跡が残るものも使っては

keregle.. tngri-dü sayidur dayadqan jalbiraju belge

いけない。天に誠心誠意祈って吉兆

tegüs qoni ol..

(をもつ) ヒツジを探すように。

2.

qoni-ban ordun-u dotur-a tuluy deger-e

ヒツジをオールドの中の儀礼用のフェルトの上に

joysuyaju. ejen-dür mörgüjü qoni-ban irügejü<sup>(3)</sup>

立たせる。主君（チンギス・ハーン）に叩頭し、ヒツジ（の左耳に口をあてて）願いを話す。

qonin-u barayun čikin-dür elgin-ü dumda ölügei-

(まず)ヒツジの右側の耳元に、肝臓の中央に（ある）凹部

yin ijayur youl-du qayan<sup>(4)</sup> sibsijü doruysi

の底の真ん中に、（それぞれ）ハーンが祈祷しながら（乳酒を）かける。（続いて手を伸ばして）下へ

youl qobi-ača üjügür<sup>(5)</sup> kürtel-e tus tus-iyar

肝臓主要部から先の部分にいたるまで各々

3.

ügülejü jegün barayun tokiyalduylju basa yadar

（願いをこめてトいの目的を）説明し、左右交互に（祈る）。また、外

tal-a barayun degedü tngri-yin γajar<sup>(6)</sup> dour-a kürüged

側「右上端」にある「天の域」の下にいたってから、

jegün deger-e dayisun-u γajar-a<sup>(7)</sup> qormui-yin üjügür<sup>(8)</sup>

「左上端」にある「敵の域」と「(左) 下裾」(の「陰界鬼怪の域」)

kürtel-e sibsighed arja arikin-iyar silgejü belge-

まで（乳酒をかけながら）祈る。蒸留酒を（かけて）身震いをさせて、（現れた）兆候

yi üjekü anu degedü uruyul anu ködelbesü

を観る。（もしヒツジの）上の唇が動いたら、

4.

keregül temečel-ün yal-a bolqu. qola γajar odqu

喧嘩や紛争の罪になる（ため）、遠方にでかけるのは

mayu. eber-iyen tngri-yin jüg-tü čoyduylbasu

良くない。角を天の方向へ立たせると、

qad noyad sayudal batu bolqu<sup>(9)</sup>. eber-iyen terigülen

貴族や役人たちの支配は堅牢になる。角を前へ

「祈祷用ヒツジのトイ書」について (楊)

sajibasü tösümed-tür sayin<sup>(10)</sup>. eber-iyen gedergü

振れば、臣下たちに吉。角を後ろへ

çoyidabasü irgen boyul-du sayin. eber ügei

向けると、属民や奴隷に吉。もし角がなく、

5.

toluyai çiki ese<sup>(11)</sup> ködelbesü sinji ügei..

頭と耳も動かなかつたら、予兆がない（ことになる）。

çikin anu degegsi sertegeljibesü ami nasun

耳が上へ立っていれば、寿命を

tngri ibegekü. çikin anu doruyisi sajibasü

天が伸ばしてくれる。耳を下へ向けて振れば、

boruyan-tai bolqu<sup>(12)</sup>. nidün inü qurça<sup>(13)</sup> qarabasü

雨が降るだろう。眼光が鋭かつたら、

qamuy-i uduridun geyigülkü. toil metü törü

すべてを統率し、鏡のように（光明正大に）世を

6.

barıqu sayin. kele inü çilbaljiju doliyaqu

治めて吉となる。舌がぴかぴかと光り、舐める

metü bolbasü kilbelegen metü ayul-tu dayisun-

ような仕草があれば、閃光のごとき危険な敵

u qour olan bolqu<sup>(14)</sup>. dörben köl-ün üy-e<sup>(15)</sup>

による害が増える。四肢の関節を

γuduran soniyaqu metü bolbasü ebedçin bolqu<sup>(16)</sup>.

前へ伸ばすようになれば、病気になる。

genedte γayça köl-iyen çabçilabasü mör jökıqu.

突然一本の（前）肢で（地面を）掘ったりすると、おこないが正しい。

7.

singgen ödken γarbasü bayasqulang deger-e

屎尿が出れば、（万事が）愉快地

yabuju erıl olqu sayin. dörben köl-iyen

はこび、探し物が見付かって吉となる。四肢を

çabçiqulun beyeben γubçiginan γoduyuljabasü

動かして自分の腹部を凹ませたり、体を（足で）搔いたりすると、

yang yeke qur-a ügei. ali jüg ergin

旱魃がひどく、降雨はない。特定の方向に向けて回って

ergin silgebesü tere жүг насун qutuγ

は身震いをすれば，その方向から福祿が

8.

irekü<sup>(17)</sup>. yerü sayin siltayan-u sinji ese γarču

届く。もし吉兆が現れずに

qurdun ergin ergin silgebesü bügüde-dür sayin.

ぐるぐる回っては身震いをしていれば，すべての人々に吉。

elgin-ü dumda ölügei-ü ijayur anu qayan-

肝臓の中間（にある）「凹部の底部」は，「ハーン

u γajar-a. tegün-ü dour-a γoul noyad-un

の域」である。その下は「主要幕僚の

γajar-a. dumda douraki öberün γajar-a. üjügür-

域」で，（さらにその下は）「中下部」の「(ダルハト) 自身の域」である。先端

9.

ün γajar-a kürtel-e γoul tūsimed-ün γajar-a.

の裾にいたるまでは「主要臣下の域」である。

ölügei-ü barayun qabiry-a dörben qobi irmeg

凹部の右側は四分の縁，

jegün tal-a γurban qobi irmeg buyu. barayun-i

左側は三分の縁から（それぞれ）なる。右側は

barayun tal-a qosiyu jegün-i jegün tal-a qosiyu

右翼の軍団<sup>(18)</sup>を，左側は左翼の軍団を（意味する）

kememüi. angqan inü qayan-u γajar-a eligen-ü

という。まずは「ハーンの域」である。肝臓の

10.

γajar-a busu busud γajar-a-yi tegsi qobi

全体と各部分，各域

qobi-dur kürtel-e tokiyalduγulju sibsın

にいたるまで均等に（酒をかけて）祈ってから（次のように）

üjekü anu ijayur-un qayan γajar-a-dur jam

観察する。凹部の先端の「ハーンの域」に血筋

sudal ügei bolbasu amitan amurjiqu sayin.

と血管がなければ，衆生が安全で吉。

seterkei nüke bügesü genedte ayuju sočiqu

割れ目や穴があれば，突然に驚愕したりする

11.

yabudal-un ʔai. ergigsen qar-a sudal bügesü kele

ことの凶兆である。曲がった黒い血管は口

aman-u siltayan. sudal qar-a bügesü boruyan yeke

論の原因である。血管が黒ければ、雨が多い。

bui. ulayan bolju čisu singgen bolbasu ebedčün

（血管が）赤く、血液がさらさらであったら、疾病や

taqul elbeg bui. quva qabudur köbürü čisu

伝染病が増える。淡黄色で泡立つ血液が

toburdaju kesegtü bolbasu ʔang salkin yeke.

何ヶ所も固まっていれば、旱魃がひどく、風が強い。

12.

boru küreng<sup>(19)</sup> sirabtur bolbasu dumda boruyan tai<sup>(20)</sup>.

茶褐色か黄色であれば、中程度の雨が降る。

keseg čeken isekei dusultai bolbasu möndür ʔam

ところどころに破れたり水滴があつたりすれば、雹（が降って）道

bolqu. ali ali ʔaʔar-un qobi-dur ali öngge

となる。（以上のように）それぞれの「域」にどんな色が

siltayan-bar tusču bayubasu mön adali iru-a bui

兆候として現れようと、すべて同じ兆候である。

ölugei-yin irmeg tegsi sayiqan bolbasu noyad

凹部の端（に凸凹がなく）平らであれば、役人たちの

13.

čoy aldar nemejü kümün amitan ʔiryaqu masi

名声が高まり、人々はじめ衆生が安寧で大

sayin. irmeg seterkei bügesü barayun tal-a ʔegün

吉となる。端に欠けたところがあれば、左右

ʔegün tal-a tokiyalduyulju üje. basa nigen ʔüsün<sup>(21)</sup> -

両端を交互に比べて観よう。もうひとつ、胆嚢

ü tulum<sup>(22)</sup> tegsi dügüreng qatayu kündü boluyad

（に胆汁が）満ちて、堅く重く、かつ

ömükei-eče neng ömükei bolbasu sayin. ʔüsün-

強烈に匂いが臭ければ吉。胆嚢

14.

ü öngge qobilju jögelen sularayad dumda bolju  
 の色が変わって、柔らかく緩く、しかも満杯ではなく  
 könggen čečerekü metü čayiburdaju<sup>(23)</sup> kesegtü jüil  
 軽くて震えているようで、ところどころに白色が  
 bolbasu mayu. yadar tal-a eligen-ü barayun degedü  
 あれば凶。外側にある肝臓の「右上  
 imeg irmeg tngri-yin yaǰar-a-dur üil  
 端」の「天の域」に雲（のような文様）が  
 čoqurdaju öngge ügei sayıqan neyilem bügesü  
 斑点状になり、色がなく、均一にかさなっていれば、

15.

sakiyulsun tngri geyigülkü metü sayin. tegüni  
 守護神たる天に守られて吉。その  
 dour-a luus-un yaǰar-a-dur eriyen dusulaysan  
 下の「龍の域」に斑点が分布し、  
 adali ügei kökübür ügei öngge inü tegsi  
 さまざまな、腫れのない色が均等に  
 bolbasu kümün mal-dur jud ügei. tegünü dour-a  
 あれば、人畜に雪害はない。その下の  
 qormui-dur boyul ǰarudasun yaǰar-a qou ǰam öngge  
 裾の部分は「奴隸と使用人の域」である。血管や血筋の色

16.

inü kesegtü jüil ügei boluyad eligen-ü öngge-  
 が変色せずに肝臓全体の色と  
 ber neyilebesü amitan neng ǰiryaqu sayin. ǰegün  
 一致していれば、衆生は一層幸せで吉。左  
 degedü irmeg dayisun yaǰar-tur čisutu ǰam  
 上端にある「敵の域」に血筋と  
 sudal ger ügei ölügei-dür ese kürgeǰü irebesü  
 血管、血の塊がなく、かつ凹部まで伸びていなかったら、  
 dayisun dotuyur ülü qaldaqu sayin. tegünü dour-a  
 敵の内侵がなくて吉。その下の

「祈祷用ヒツジのトイ書」について（楊）

17.

qari-yin yaǰar-a-dur öngge meküš bolbasu

「異国の域」に色が薄ければ、

omuy daruqu metü mayu<sup>(24)</sup>. tegüni qormui tal-a-

威勢が抑えられて凶。その裾

dur erlig silmüs yaǰar-a bui önggeǰijü qaldaqu

に「陰界鬼怪の域」がある。色が広がる

metü bolbasu kümün-ü čöb ayul olan bui..

ようだったら、人間の災難と危険が増える。

ese qubilju<sup>(25)</sup> tegsi neyilekü önggetei bolbasu

（色が）変わらずに（肝臓全体の色と）同じであれば

18.

sayin ali ali yaǰar-a-yi endegürel ügei

吉。各域を間違わずに

üǰejü sibi.. Gümeli Mergen Ĵinung-un Ĵakiy-a-

祈りながら観察しよう。 Gumri・Mergen・Jinonの命令

bar erten-ü qayad-un tungyaysan Sönid-un

により、古のハーンたちが書写してきたスニト（部）の

Gilügen Bayatur-un tölgen sudur qayučiraysan-

ギルーン・バートルのトイの書が古くなったの

i köke luu Ĵil-ün Ĵun-u ekin sar-a-yin sin-e-

を、甲辰年夏の最初の月の

19.

yin Ĵurban-du Söngči Qarčayai sinedken

三日に、スUNCH・ハルジャガイが新たに

bičibei..

書き写した。

おわりに

以上で示したように、写本の内容としては、天に祈祷し、祝詩を述べてからヒツジの角、唇、耳、舌の動きや尿尿を観察すること、また屠った後に肝臓に付着している血管や血液、胆嚢などを観るなど、細かなトイ方法が織りこまれている。小さな肝臓ではあるが、そこには「ハーンの域」から「奴隸や使用人の域」までさまざまな世界が展開されている（写真 1, 2 と図 1, 2 参照）。よみとれるメッセージも降雨や干ばつなど自然現象から敵人の内侵、役人の出世まで含め、実に



豊富である。かつてモンゴルの大ハーンが動物の内臓を用いてトイをおこなっていたことがヨーロッパからの旅行者に目撃されていることともあわせて考えると、ヒツジの内臓トイこそ、モンゴルのもっとも古い占トのひとつであろう、とサインジャラガルは主張している (Sayinjiryal 1998, p.80)。

サインジャラガルはまた「祈祷用ヒツジのトイ書」のコロフォンに注目している。グムリ・メルゲン・ジノンとはグンビリク・メルゲン・ジノンのことで、1506年に生まれ、1532年にジノンの位を継承し、1550年に死去した人物である。グンビリク・メルゲン・ジノン生存中の甲辰年とは、1544年にあたるだろう、とみている (Sayinjiryal 1998, p.80)。

モスタールト師が収集した「聖主の祝詩および尊き食べ物の作法の書」という『金書』のなかに、「大臣ギルーンが書いた書物から創作した冊子なり」(Gilügen sayid-un nomlaysan-ača jokiyaysan sudur bui) とのことばがある (楊 1998, p.29; Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.58)。サインジャラガルはこの一句を「大臣ギルーンに起源し、創作した書」(Gilügen sayid-un uylaysan-ača jokiyaysan sudur) と解説している (Sayinjiryal 1998, p.80)。つまり、「聖主の祝詩および尊き食べ物の作法の書」の中の重要なことばのひとつを nomlaysan と読むかそれとも uylaysan とするかの違いである。どのように解説するにせよ、「大臣ギルーン」(Gilügen sayid) を「祈祷用ヒツジのトイ書」の起源ないしは編纂と関連づけている点は共通している。

いわゆる「大臣ギルーン」とはスニト部のギルーン・バートル (Sönid-ün Gilügen Bayatur) を指していることはすでにサインジャラガルや私の研究によって確認されている (Sayinjiryal 1998, pp.80-81; 楊 2003, pp.41-61) <sup>(26)</sup>。このように、現時点では 1544 年に書写された「祈祷用ヒツジのトイ書」と、1909 年に書写された「聖主の祝詩および尊き食べ物の作法の書」、という 2 つの『金書』がスニト部のギルーン・バートルと結びついていることは明かである。

## 注

- (1) ハラ・サルギス即ち黒いサルギスという病気について、サインジャラガルをはじめ、複数のダルハトたちに確認したが、明確な答えを得られなかった。
- (2) 「天のイヌ」とはオオカミに対する尊称である。
- (3) モスタールト師が収集したテキストでは qorin nigen-e miliyayud-un qoni-yi ordun-u dotur-a bariju yolumta takin maytan mörgün irügejü ejin-dür mörgüjü となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, pp.53-54)。
- (4) モスタールト師が収集したテキストでは jinung qayan となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.54)。
- (5) モスタールト師が収集したテキストでは üjügür-e となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.54)。

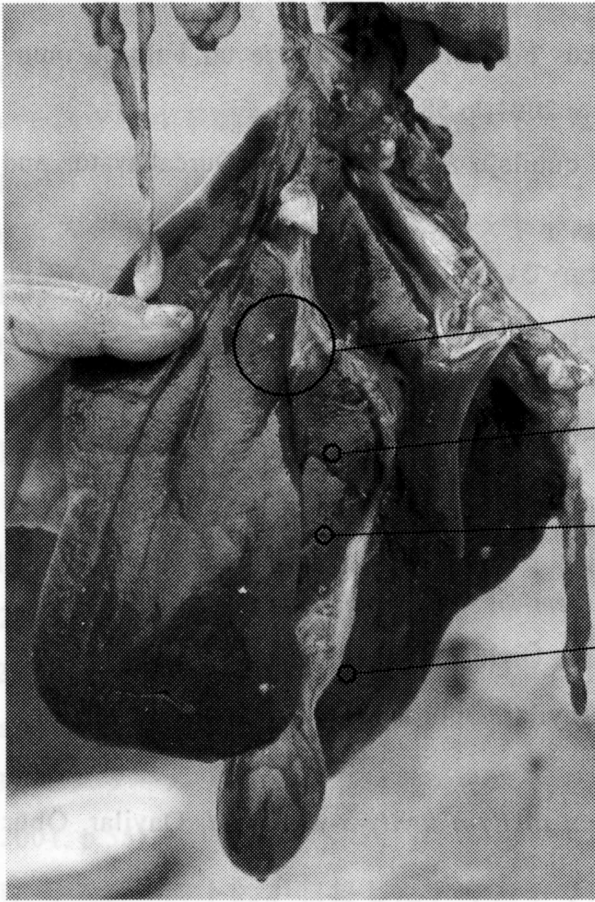
- (6) モスタールト師が収集したテキストでは *γajarača* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.54)。
- (7) モスタールト師が収集したテキストでは *γajarača* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.54)。
- (8) モスタールト師が収集したテキストでは *üjügür-e* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.54)。
- (9) モスタールト師が収集したテキストではここで *süüli manduqu sayin* とのことばが入っている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.54)。
- (10) モスタールト師が収集したテキストではさらに *arad-tu sayin* とのことばが入っている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.54)。
- (11) モスタールト師が収集したテキストでは *yerüde ese* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.54)。
- (12) モスタールト師が収集したテキストでは *tere on boruγan tai bolqu* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.55)。
- (13) モスタールト師が収集したテキストでは *qurča γuduyin* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.55)。
- (14) モスタールト師が収集したテキストではさらに *qariγul orkiqu dayisun-u üile-dür sayin* とのことばが入っている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.55)。
- (15) モスタールト師が収集したテキストでは *üy-e-dür* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.55)。
- (16) モスタールト師が収集したテキストでは *güidele ebedčin bolqu. buyan-i ergügdekü* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.55)。
- (17) モスタールト師が収集したテキストではさらに *altan genel dalaly-a ab* との一句がある (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.55)。
- (18) 私はこの表現をオルドスの「右翼4旗, 左翼3旗」と理解せずに, 古くからの「軍事組織」を意味するホショー (ウラジーミルツォフ 1936, pp.320-321) として考えるべきだと思う。
- (19) モスタールト師が収集したテキストでは *küren* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.56)。
- (20) モスタールト師が収集したテキストではさらに *tariy-a idegetei sayin* との一句がある (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.56)。
- (21) モスタールト師が収集したテキストでは *eketü jüsün* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.57)。
- (22) モスタールト師が収集したテキストではさらに *inu sir-a noyubtur* とのことばが入っている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.57)。
- (23) モスタールト師が収集したテキストでは *čayibur-tu-ču* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.57)。

2001, p.57)。

- (24) モスタールト師が収集したテキストでは *öngge mekü bolbasu sayin, öngge tai bolbasu omuy daruqu metü mayu* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.58)。
- (25) モスタールト師が収集したテキストでは *öngge ese qubilaju* となっている (Qurčabayatur and Čoytu 2001, p.57)。
- (26) スニト部のギルーン・バートルが八白宮の祭祀のなかでいかに表象されているかについては、楊 2003, pp.39-130 を参照されたい。

## 参考文献

- Sayinjiryal 1998: "Sönid-ün Gilügen," *Öbür mongyol-un neyigem-ün sinjilekü uqayan* (6), pp.80-81.
- Sayinjiryal and Šaraldai 1983: *Altan ordun-u tayily-a*, Begejing, Ündüsüten-ü keblel-ün qoriy-a.
- Qurčabayatur and Čoytu 2001: *Činggis qayan-u altan bičig*, Qayilar, Öbür mongyol-un soyul-un keblel-ün qoriy-a.
- Qurčabayatur and Üjüm-e 1991: *Mongyol-un böge mörgül-ün takily-a tayily-a-yin soyul*, Qayilar, Öbür mongyol-un soyul-un keblel-ün qoriy-a.
- Hurcabaatur, Solonggod 1999: "Die Divination mit der Schafsleber bei den Ordos-Mongolen," in klaus Sagaster ed., *Antoine Mostaert(1881-1971), C.I.C.M. Missionary and Scholar*, pp.135-144.
- Serruys, H. 1975: "A Catalogue of Mongol Manuscripts from Ordos," *Journal of the American Oriental Society* 95, pp.191-208.
- 1982: "A dalaly-a Invocation from Ordos," *Zentralasiatische Studien* 16, pp.141-147.
- 1984: "The Cult of Činggis-Qan: A Mongol Manuscript from Ordos," *Zentralasiatische Studien* 17, pp.29-62.
- ウラジーミルツォフ 1936: 『蒙古社会制度史』外務省調査部
- 利光有紀 1989: 「ヒツジに託す願い——モンゴル族, 春のチンギス・ハーン祭典」『季刊民族学』48, pp.36-46.
- 楊 海英 1998: 『〈金書〉研究への序説』国立民族学博物館調査報告 7
- 2003: 「儀礼が維持する集団の歴史的記憶——道光年間における祭祀者集団ダルハトの訴訟事件が反映する歴史観」『国立民族学博物館研究報告』(28) 1, pp.39-130.



- 1.ölügei-yin ijayur (凹部の底部)
- 2.ölügei-yin dour-a (凹部の下部)
- 3.ölügei-yin dumda dour-a (凹部の中下部)
- 4.üjügür-ün qormui (凹部の裾)

写真1 ヒツジの肝臓の内側 (dotur tal-a)

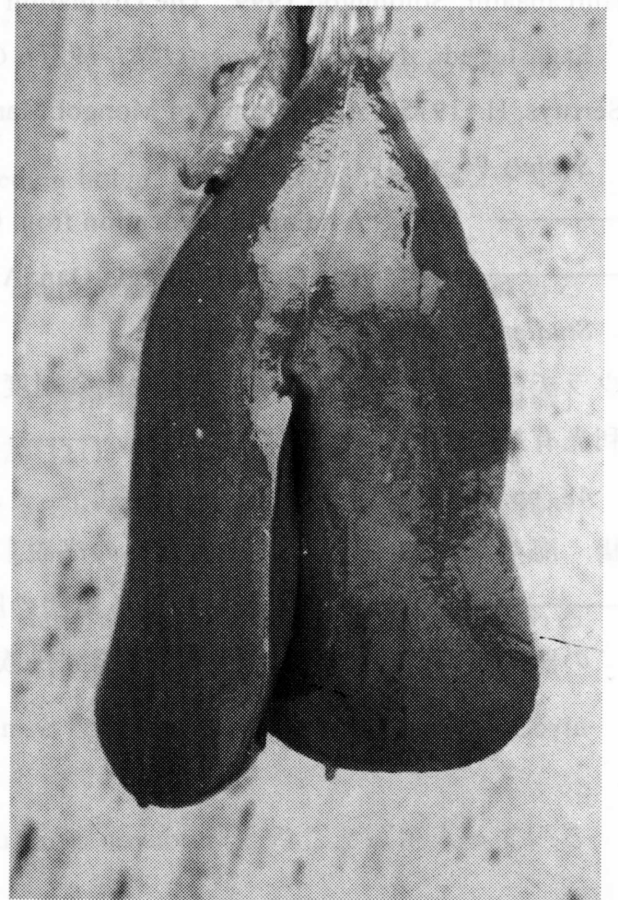
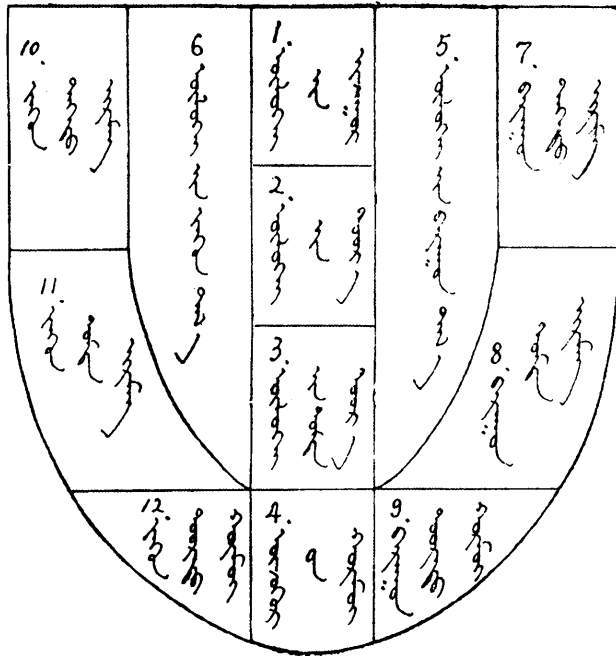
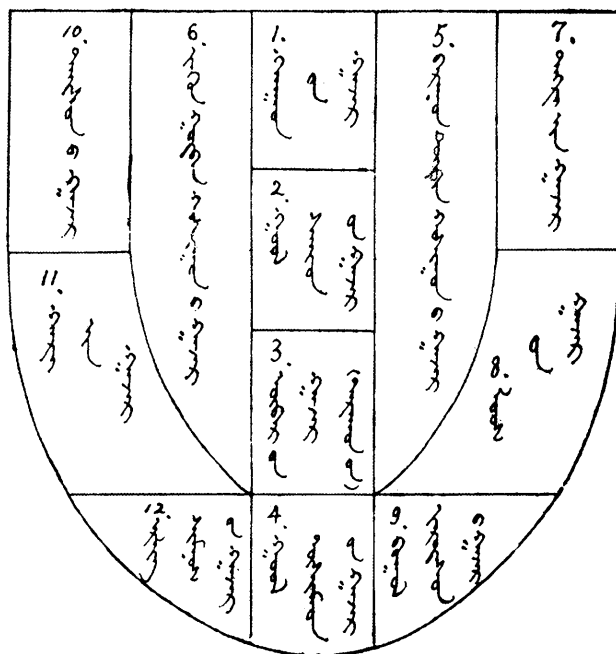


写真2 ヒツジの肝臓の外側 (yadar tal-a)



- 1.ölügei-yin ijayur (凹部の底部)
- 2.ölügei-yin dour-a (凹部の下部)
- 3.ölügei-yin dumda dour-a (凹部の中下部)
- 4.üjügür-ün qormui (凹部の裾)
- 5.ölügei-yin barayun tal-a (凹部の右端)
- 6.ölügei-yin jëgün tal-a (凹部の左端)
- 7.barayun degedü irmeg (右上端)
- 8.barayun dumda irmeg (右中端)
- 9.barayun douratu qormui (右下裾)
- 10.jëgün degedü irmeg (左上端)
- 11.jëgün dumda irmeg (左中端)
- 12.jëgün douratu qormui (左下裾)

図1 占卜用肝臓の各部位 (Qurčabayatur and Üjüm-e 1991, p.413 より改編)



- 1.qayad-un yajar (ハーンの域)
- 2.youl sayid-un yajar (主要幕僚の域)
- 3.öber(Darqad)-ün yajar (ダルハト自身の域)
- 4.youl tüsimed-ün yajar (主要臣下の域)
- 5.barayun dörben qosiyun-u yajar (右翼四軍団の域)
- 6.jëgün yurban qosiyun-u yajar (左翼三軍団の域)
- 7.tngri-yin yajar (天の域)
- 8.luus-un yajar (龍の域)
- 9.boyl jarudasun-u yajar (奴隷と使用人の域)
- 10.dayisun-u yajar (敵人の域)
- 11.qari-yin yajar (異国の域)
- 12.irlig simnus-un yajar (陰界鬼怪の域)

図2 占卜用肝臓の各部位と対応する諸領域 (Qurčabayatur and Üjüm-e 1991, p.413 より改編)

Handwritten text in a cursive style, oriented vertically.

Handwritten text in a cursive style, oriented vertically.

1

Handwritten text in a cursive style, oriented vertically.

2

Handwritten text in a cursive style, oriented vertically.

3

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript.

4

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript.

5

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript.

6

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript.

7

1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.

8

1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.

9

1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.

10

1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.  
 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000. 1000.

11



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document, consisting of approximately 10 lines of text.

13

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document, consisting of approximately 10 lines of text.

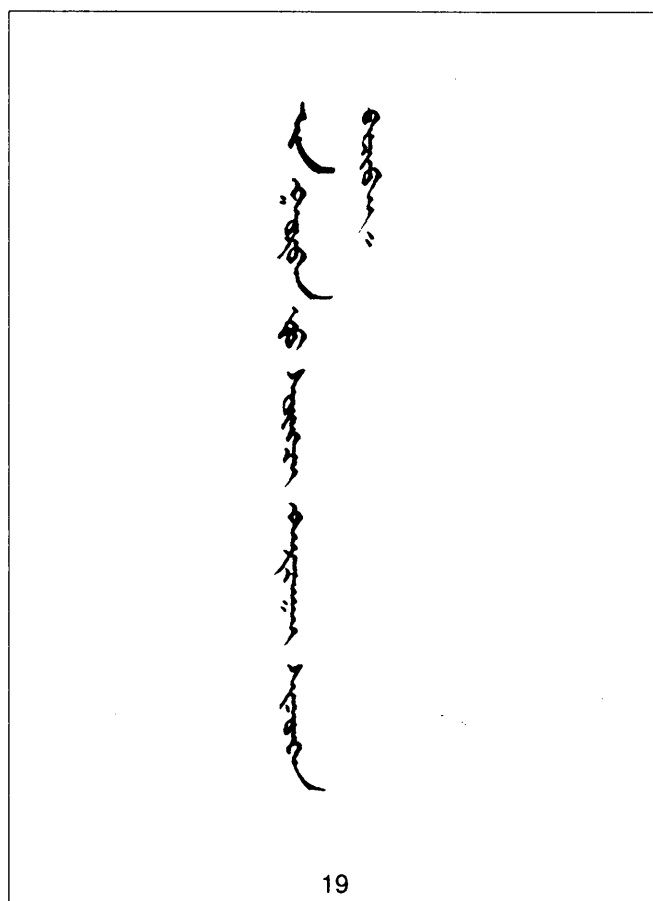
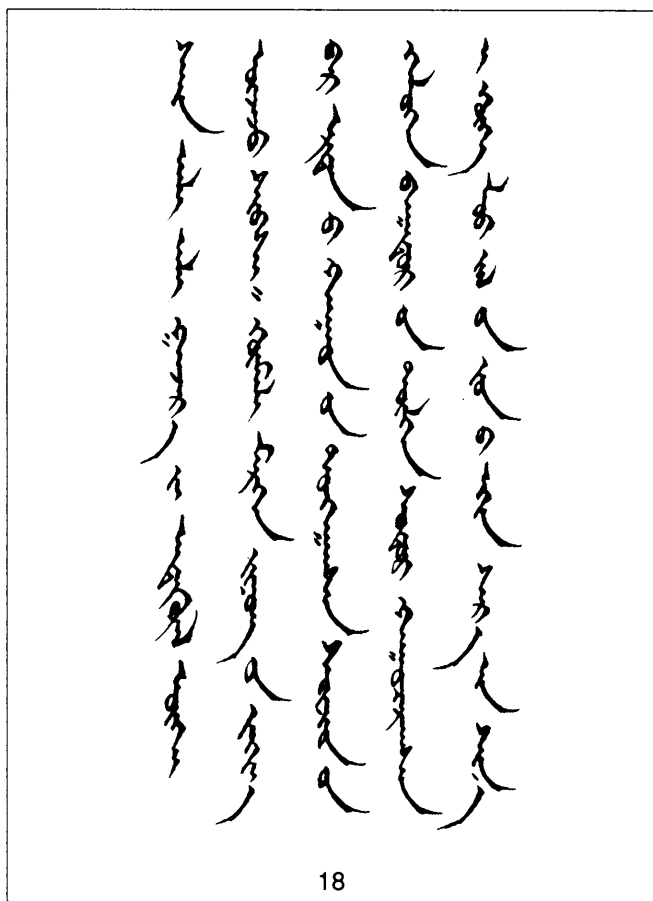
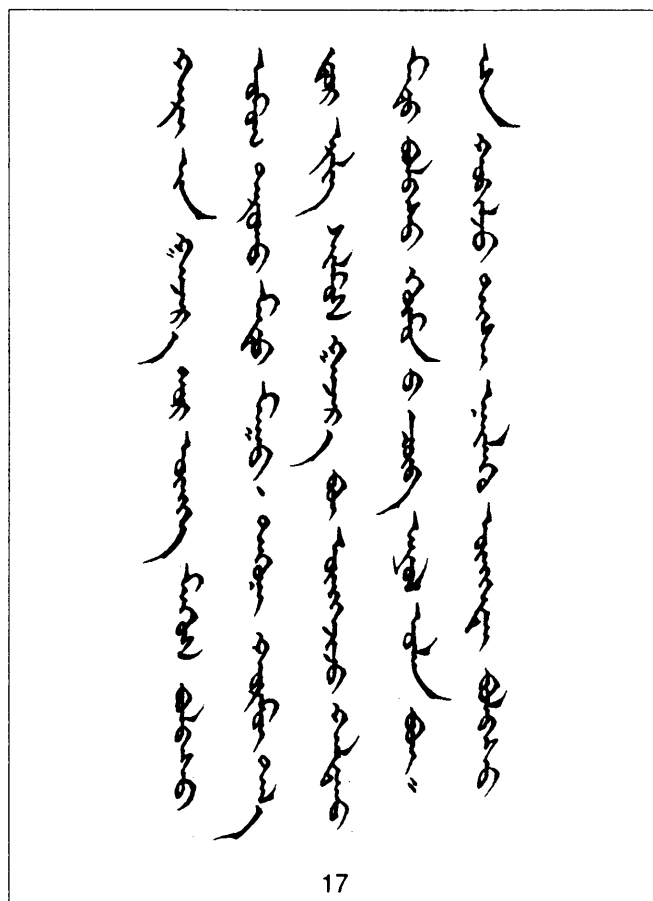
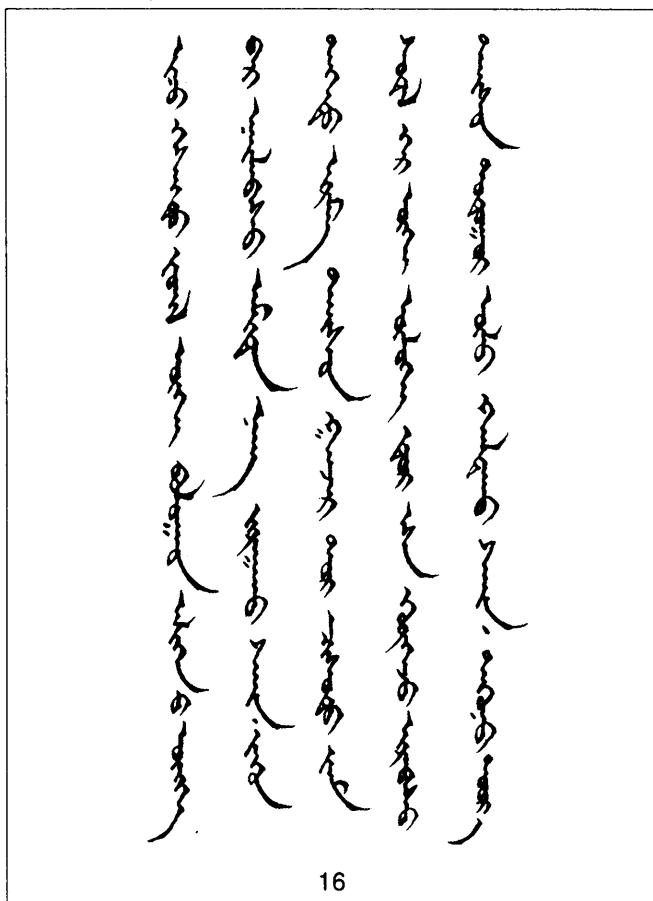
12

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document, consisting of approximately 10 lines of text.

15

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document, consisting of approximately 10 lines of text.

14



(やん はいいん, 静岡大学人文学部)